

令和元年第4回

高森町議会 11月臨時会会議録

令和元年 11月 20日 開会



高 森 町 議 会

1 1 月 2 0 日 (水)

(第 1 日)

令和元年第4回高森町議会臨時会（第1号）

令和元年11月20日
午前10時00分開会
於 議 場

1. 議事日程

町長あいさつ

開会（開議）宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

8番 本田 生一君

9番 田上 更生君

日程第2 会期の決定

(1) 会 期 （1日間）

自 令和元年11月20日

至 令和元年11月20日

(2) 会期及び審議の予定

月 日	会議の種類	備 考
11月20日（木）	本会議	議案審議

日程第3 議案第56号 令和元年度高森町一般会計補正予算について

2. 出席議員は次のとおりである。（10名）

1番 後藤 巖 君

2番 津留 智幸 君

3番 後藤 清治 君

4番 牛嶋 津世志 君

5番 後藤 三治 君

6番 芹口 誓彰 君

7番 立山 広滋 君

8番 本田 生一 君

9番 田上 更生 君

10番 佐伯 金也 君

3. 欠席議員は次のとおりである。（0名）

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名（19名）

町 長 草村 大成 君 副 町 長 本田 敦美 さん

教 育 長	佐 藤 增 夫 君	総 務 課 長	沼 田 勝 之 君
生活環境課長	後 藤 健 一 君	会 計 課 長	古 澤 要 介 君
健康推進課長	野 中 裕美子 さん	住 民 福 祉 課 長	佐 伯 実 君
建 設 課 長	東 幸 祐 君	農 林 政 策 課 長	荒 牧 久 君
税 務 課 長	丸 山 雄 平 君	政 策 推 進 課 長	田 上 浩 尚 君
教育委員会事務局長	馬 原 恵 介 君	T P C 事 務 局 長	岩 下 徹 君
住民福祉課審議員	後 藤 一 寛 君	政 策 推 進 課 課 長 補 佐	岩 下 雅 広 君
総務課課長補佐	今 吉 輝 子 さん	総 務 課 総 務 係 長	住 吉 勝 徳 君
総務課財政係長	代宮司 猛 君		

5. 本会議に職務のため出席した者の職氏名（2名）

議会事務局長	安 藤 吉 孝 君	議会事務局主査	衛 藤 千 佳 さん
--------	-----------	---------	------------

開会 午前10時00分

-----○-----

○議長（後藤三治君） おはようございます。

会議に先立ちまして、町長の御挨拶をお願いします。町長 草村大成君。

○町長（草村大成君） おはようございます。

本日は臨時議会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、御多用にも関わらず御出席をいただき、誠にありがとうございます。

朝晩、もう寒さを感じるようになり、今後、本格的な冬を迎えるわけですが、議員の皆さまも町民の皆さまも、それぞれ健康管理には十分注意していただきたいと思っておりますし、また阿蘇中岳の噴火が長く続いておりますが、この時期以降は北西の偏西風をもって、高森町や高千穂方面に降灰が予想されるところでございます。特に子どもさんに対してのこの降灰の周知徹底、そしてそれに対する対策というのは、教育委員会をはじめ、各セクションが行ってきているところではございます。また、農政のほうもしっかり対応をしていくということで、過去の経験をしっかりした有効的な形で使っていけることができるのではないかとというふうに考えているところでございます。

また、定例会が先般、9月の定例会後に大きな動きがございました、町といたしましては、株式会社コアミックスさんとエンターテイメント業界と連携した、まちづくりと地域の新産業創出の共同事業実施に関する協定を、熊本県立ち会いの下、協定を結ばせていただきました。出版社でいうと、角川書店、角川春樹さん出版社が有名でございますが、エンターテイメント、つまり漫画業界ではコアミックスの堀江社長が同じような位置づけでございますし、現在、産業的な規模でいいますと、漫画産業は約30兆円産業でございます。伸びしろが果てしなく、どこまで伸びる分からない、つまり新しい方向がたくさん進んでいけるということが大変魅力じゃないかなというふうに考えているところでございます。また、この協定をもつての取り組みに関して、その後の熊本県の商工会議所、高森町の商工会ではございません。熊本県の商工会議所の記念講演で御紹介があったところでございます。

また、ちょうど台風19号の被害がマスコミで流れる中、当町が相互協定を結んでおります福島県相馬市への、この支援を行わせていただきました。支援するのは当然でございますが、どこよりも早く協定を結んでいる自治体の中では最も早いスピードで、沼田総務課長が直接相馬市へ出向き、そして被害状況と環境等を確認して、それに見合うこの支援をさせていただいたところでございます。議員の皆さま

には御理解をいただいたということで、大変感謝を申し上げたいというふうに思いますし、相馬市長さんのほうからも直筆のお礼のお手紙をいただいているところでございます。

さて、本日の臨時議会に御提案いたします案件は、介護基盤緊急整備事業に係る一般会計補正予算案の議案1件でございます。御審議をいただき、御決定賜りますようお願い申し上げ、御挨拶といたします。

○議長（後藤三治君） ありがとうございます。

ただいまの出席者は定足数に達しておりますので、令和元年第4回高森町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

-----○-----

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（後藤三治君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、8番 本田生一君、9番 田上更生君を指名します。

-----○-----

日程第2 会期の決定

○議長（後藤三治君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日11月20日の1日にしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（後藤三治君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日と決定しました。

-----○-----

日程第3 議案第56号 令和元年度高森町一般会計補正予算について

○議長（後藤三治君） 日程第3、議案第56号、令和元年度高森町一般会計補正予算について、提案理由の説明を求めます。町長 草村大成君。

○町長（草村大成君） 議案第56号で御提案いたしました、令和元年度高森町一般会計補正予算（第4号）について、御説明を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億1,297万6,000円を追加し、予算の総額を52億2,895万8,000円とするものでございます。

歳入歳出の内容につきましては、今回、一つの事業のみの補正となっておりますので、カラーでプリントしております、こちらの補正予算概要書に沿って御説明を申し上げます。概要書の右上に番号を記載しておりますので、こちらの番号を見ながら内容を御確認していただきたいと思っております。

番号1をご覧ください。介護基盤緊急整備特別対策事業補助金について御説明を申し上げます。こちらの事業につきましては、介護予防の拠点として各地域の公民館、皆さんが使われる地域の公民館のトイレをバリアフリー化したり、また手摺りの取り付けを行ったり、いろんな改修をする事業となっております。前回の補正3号において戸狩の集会所や大切畑の集会所の改修というところを上げさせていただきまして、議決をいただいた事業と同じになります。今回、事業の追加ということで、全部で16カ所、総額1億1,379万6,000円を計上させていただきました。こちらの事業は、全額が熊本県の補助となっておりますので、歳入につきましても追加分の経費を計上しております。

事業実施箇所は、番号2に一覧表を作成しております。こちらのほうでございます。また、今回、町が持っている施設で、野尻の朋遊館及び北部の高森自然学校も改修予定でございますが、これは設計委託料に関しては補助対象外となりますので、その分だけを一般財源とさせていただきます。特に野尻の朋遊館に関しましては、地元の議員さんもいらっしゃいますので御存じだと思います。現在、フロンガスで冷却する仕組みが野尻の朋遊館でございますが、来年、その製造が中止になります。つまり、今後その今ある朋遊館の設備では、高齢者の方やいろんな事業の中で、暖房を入れたり、冷房を入れたりすることは不可能になるということで、来年度、一般会計でこれは補助がございませんでしたので、朋遊館全体のこの冷暖房整備をお願いしなければいけないというふうに思っていたところ、ジャストタイミングでこの介護基盤緊急整備特別対策事業補助金で、この朋遊館もできることが内示をいただきましたので、御報告をさせていただきたいというふうに思います。今回は事業の周知徹底を担当の二子石係長さんが丁寧に、また全力で行っていただきました。そして、新たな要望等を県にお示しをし、本田副町長の調整によって、熊本県から補助金の採択をいただいたところでございます。もともとは国の厚生労働省のこの単年度、基本的には単年度ですので、単年度の事業でございますが、県内では多分、高森町が一番スピード感をもって、この申請もそうでございますが、内示をいただいたのではないかなというふうに思っておりますし、熊本県の職員さんにも本田副町長を通じて多くの助言をいただき、アドバイスをいただき、今回の高森町議会の

予算の提案になったところでございます。この事業に関しては、これから当然、継続事業になる可能性もございますし、そこはまだ来年度ですので、100%とは言い切れません。しかしながら、今後も国と県とのつながりをしっかり取りながら、情報を早めに仕入れて、そしてしっかりその事業がやっていけるように持っていきたいというふうに思います。

以上、今回御提案しております補正予算について、その概要を御説明申し上げましたが、御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げまして、説明を終わります。

○議長（後藤三治君） 提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑はありますか。10番 佐伯金也君。

○10番（佐伯金也君） 10番 佐伯でございます。

この補助事業につきましては、補正第3号で私どもの常任委員会で審議をさせていただきました。その際に、10分の10というのは、提案されたときに町長のほうから御報告をいただきまして、非常に今の財政状況の中で、大体の補助事業というのは3分の1であったり2分の1であるんですが、災害復旧であれば9割補助、または3分の2というふうな形だったんです。10分の10の補助事業があるというのを、今回、補正第3号で教えていただいて、常任委員会の中でも、こんないい補助事業があるのであるならば、特に高齢者が多くなっておるこの高森町においては、利用しない手はないんじゃないか。早急にこれ以降の事業について可能か可能でないかを調査して、できれば新年度に向かって働きかけをよろしくというふうに申し上げた結果であると思います。非常にこのスピード感をもって、9月の議会で上げられた補助事業を、今回臨時議会でまた追加でしていただくというのは、私どもとしては感謝するほか、もう何もないんですが、この事業がただ今日臨時議会で採択を受けましたとしても、事業年度が令和元年度事業でございます。採択を受けたと仮定して、各駐在区がどのようにこの事業を進めていくべきなのか、年度内に終わらなければならない事業であると思っておりますし、この事業の今後の見通し等も含めて、今、町長のほうから報告がありましたとおり、県のほうから副町長はお出ででございます。この方のかんりの御尽力があったと思うんですが、この流れ等について、副町長のほうから、どのように進めていかなければならないかというのをお示しいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（後藤三治君） 副町長 本田敦美さん。

○副町長（本田敦美さん） 10番 佐伯議員の御質問にお答えいたします。

まず、この県の事業につきましてでございますけれども、町長からも先ほど説明がございましたとおり、国の地域医療介護総合確保基金というものを活用いたしました単県の事業でございます。おっしゃいましたとおり、今回、委員会とかでの御助言もいただきながら、各地域の要望等を聞きまして、幸いにも第3回の交付決定のタイミングに間に合ったというところでございます。ただ、先ほどもおっしゃいましたとおり、県からの内示も11月8日ということで遅うございましたので、尚かつそれでありながらも年度内に完了する必要があるというのはおっしゃったとおりでございますので、本来では交付決定後に事業着手をすべきところでございますけれども、本日御承認をいただきましたら、事前着手届を提出するなど、所定の手続きを行って、早急に事業を始めたいというふうに考えております。

先ほど申し上げましたとおり、年度内に完了と、これは建物の整備が終わるだけではなく、完了検査をして県に実績報告書を提出するところまでを行う必要がございますので、大変短期間の事業とはなりますけれども、各事務手続きに関しましても、地域の申請の代表者の皆さま方と役場のほうできめ細やかに連携を取りながら、また尚かつ県のほうともこれまでも事前に調整をしているところではございますけれども、今からも御指導いただきながら、適正な手続きを踏み、またスケジュールに遅れがないようにして実施をしたいというふうに考えております。

役場といたしましては、申請されました各地域代表の皆さま方と、より今まで以上に連携を密に取りながら、このスケジュール管理を確かに行ってまいって、事業を順調に完了させたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（後藤三治君） 10番 佐伯金也君。

○10番（佐伯金也君） 10番 佐伯でございます。

大変忙しい、今から仕事になってくると思うんですけども、恐らく各駐在員さんが代表でこの事業の申請をされたものだというふうに思っております。連携を密にして、今後、年度内に完了ができるように頑張っていたきたいなど。そしてまた、町長が冒頭言われたとおり、この単県事業、今、予防という観点からして、非常にこの継続性が高いものだというふうに私は考えております。ですから、これだけの事業をする上においては、恐らく県でもこの高森町がこれだけの予算を費やして事業をするということは、モデル地区になってくる可能性があるわけですね。ですから、今後、まだ高森町は広い地域の中で介護予防の拠点となる地域、まだこの補助事業に申請をしていない地域、施設がございます。その方たちのほうにも新年

度、また来年度あたりに事業が展開していけるようにするためには、今回のこの事業をされる地域が、どのようなじゃあ介護予防について活動をしていかなければならないか、その今後の活動内容について、行政側が考えておることを健康推進課長のほうにお答えをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（後藤三治君） 健康推進課長 野中裕美子さん。

○健康推進課長（野中裕美子さん） 10番 佐伯議員の御質問にお答えします。

今、国のほうは2025年問題、2040年問題を見据えたところで、持続可能な社会保障制度というところで、医療と介護のあり方というのが論議されております。そこで、今後は介護保険の給付対象者をさらに制限しようという動きもあり、お一人お一人がいかに元気にお年を重ねて、健康寿命を延ばしていくかということが大変重要になってきております。

そこで、この本事業を活用していただいて、身近な集会所、公民館などを使いやすい施設に整備して、週1回、介護予防という意味で、住民主体的な通いの場、これは体操だったり、趣味の活動だったり、そういうものを通して地域ぐるみで実施していただきたいと思いますと思っていますところです。

ちなみに、現在、通いの場を実施しておりますが、成果を評価されるものでありますので、運動機能の評価を実施しております。3カ月で理学療法士さんに機能の評価をしていただいて、見ていっているところですが、運動機能の中でも、目を開けて片足で立つ、何秒できるかというような一つの評価項目がありまして、これは15秒に満たないと転びやすくなるというようなもので、これが3カ月で15秒に満たなかった方が、90秒、100秒とできるようになったという成果も実際見られております。

そこで、こういう事業を継続してやっていただけるように、課としても住み慣れた地域で元気に生活を送っていただきますように、住民の皆さんと一緒に支援していきたいと考えているところでございます。

○議長（後藤三治君） 10番 佐伯金也君。

○10番（佐伯金也君） 10番 佐伯でございます。

私どもの産業厚生常任委員会、先般の新聞、マスコミ等の報道でもありましたとおり、国が予防医療、重篤化の予防であったり、介護の予防であったりと、そちらのほうに今からどンドン予算を費やしていくというふうには報道されておりました。今回の事業はそれに先駆けて、県が我々のような少子高齢化が非常に進んでおる行政に対して、予防のモデル地域にもしかしたら考えていただいておりますから、

こういうふうな多額の補正予算を組んでいただいたものだというふうに考えております。

そうなりますと、私たちもプレッシャーがこれはかなり高くなってきて、受け皿としてはより地域の中でこの予防事業に対して力を注いでいかなければならないと思いますし、町長のほうもこれだけの予算を持ってきたということになると、県あたりに対して、国あたりに対して、予算の営業と申しますか、補正予算の獲得に対して、それぞれの評価をされてくるということで、かなりのプレッシャーが当たってくると思います。

そういうわけで、私どもも側面から議会のほうも応援をしていかなければならないと思っておりますので、町長のほうも大変なプレッシャーがあると思いますけれども、今後、受け皿として行政側のほうの環境づくりのほうも、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。

私の質問は、以上でございます。

○議長（後藤三治君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（後藤三治君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（後藤三治君） 討論なしと認めます。

これから議案第56号、令和元年度高森町一般会計補正予算についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（後藤三治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第56号、令和元年度高森町一般会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

-----○-----

○議長（後藤三治君） これで、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和元年第4回高森町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

-----○-----

閉会 午前10時24分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

高森町議会議長

高森町議会議員

高森町議会議員

高森町議会会議録
令和元年第4回臨時会

令和元年11月発行

発行人 高森町議会議長 後藤三治

編集人 高森町議会事務局長 安藤吉孝

作成 株式会社アクセス

電話 (096)372-1010

高森町議会事務局

〒869-1602 阿蘇郡高森町大字高森2168

電話 (0967)62-1111